



《将来に向けた取組方針》

住友理工グループは、天然ゴムをはじめ、大気や水、鉱物など様々な自然の恵みを利用して事業活動を行っています。私たちの事業活動で自然の恵みを汚したり無くしたりしてはならず、後世に引き継いでいく責任があることを認識し、環境長期ビジョン2050で自然共生社会の実現を掲げました。そのため生物多様性保全のため森づくり活動や希少種保護活動、近隣地域の美化活動の他、サプライチェーンに関わる環境保全にも活動範囲を広げていきます。住友理工は2030年までのネイチャーポジティブに向けた活動に取り組んでいきます。

〈具体的取組み事例〉

●希少種（マメナシ）の保全活動

愛知県小牧市の「大草のマメナシ自生地」は、絶滅危惧種のマメナシが自然状態で世代交代ができる環境が長期にわたって維持されているという点で価値が高く、愛知県の天然記念物に指定されています。住友理工は、小牧市、地域ボランティアと一緒に、実生調査や草刈りなど、自生地の保全活動に取り組んでいます。



マメナシの花



マメナシ自生地での実生調査

●大山川水生生物調査

小牧製作所に隣接する大山川において、小牧市、地域ボランティアと一緒に、小学校の環境教育の一環として実施している水生生物調査に協力しています。



小学生による水生生物調査

●特定外来生物の駆除活動

住友理工は、小牧市、近隣企業、地域ボランティアと一緒に、特定外来生物であるオオキンケイギク駆除活動を実施しています。



オオキンケイギク駆除活動

〈今後の課題等〉

自社の事業活動による生態系への環境負荷の見える化と低減。

〈社会に向けたメッセージ〉

自然共生社会に向けて、自然の恵みを守り、大切にしていきたいです。